

『小学音楽 音楽のおくりもの 2』評価計画

<コーナー名> (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準例	歌唱	器楽	音楽 づくり	鑑賞
<導入> 「朝の リズム」 (随時扱い)	(1) 曲想と旋律やリズムなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、互いの歌声や伴奏を聴きながら、声を合わせて歌ったり、拍に合わせてリズム打ちしたりする技能を身に付ける。	知識・技能	○			
	(2) 旋律やリズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつ。	思考・判断・表現	○			
	(3) 歌唱やリズム打ちに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、リズム打ちを伴った歌唱表現に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	○			

○=本評価規準例における中心的な項目

<コーナー名> (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準例	歌唱	器楽	音楽 づくり	鑑賞
<スキルアップ> 手びょうしりレーで あそぼう (毎時扱い)	(1) 手拍子によるさまざまな音や表現の特徴に、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付くとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて即興的に音を選んだりつなげたりする技能を身に付ける。	知識・技能			○	
	(2) 強弱、タイミング、打つ回数などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音遊びを通して音楽づくりの発想を得る。	思考・判断・表現	○			
	(3) 互いの音や表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、即興的な表現に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	○			

○=本評価規準例における中心的な項目

題材名 (扱い時間・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準例		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
		知識・技能	思考・判断・表現				
強さや はやさを かんじて (6時間扱い・4～5月)	(1) 曲想と、強弱や速度、呼びかけとこたえなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と、強弱や速度、呼びかけとこたえなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。	○			○
			互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。	○			
	思考・判断・表現	強弱や速度、呼びかけとこたえを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、歌詞や曲想に合った表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもったり、曲の楽しさを見いだして聴いたりする。	○				○
	(3) 強弱の変化に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、交互唱に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	強弱の変化に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○			

○＝本評価規準例における中心的な項目

の扱 めい や時 す数	ねらい	教材 (◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準例
2	曲想と、強弱や速度などとの関わりに気付くとともに、それらが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、曲の楽しさを見いだして聴く。	◎「天国と地ごく」から ほか	○「天国と地ごく」から と、「かめ」を、体を動かしながら、強さや速さに注意して聴く。 ○「山の魔王の宮殿にて」を、体を動かしながら、よいところ、面白いところを見つけて聴く。	【知-①】 「天国と地ごく」「かめ」の曲想と、強弱や速度など音楽の構造との関わりに気付いている。 【思-①】 「山のま王のきゆうでんにて」の強弱や速度を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の楽しさを見いだして聴いている。
1	互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	小さな はたけ	○「小さなはたけ」を、歌詞に合った強弱や歌い方で、声を揃えて歌う。	【技-①】 互いの歌声や伴奏を聴いて、「小さなはたけ」を声を合わせて歌う技能を身に付けている。

3	呼びかけとこたえが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、歌詞や曲想に合った表現を工夫するとともに、強弱の変化に興味をもち、音楽活動を楽しむ。	山びこ ごっこ かくれんぼ（共通教材）	○「山びこごっこ」を、声の感じや強弱を工夫して歌う。	<p>【知-②】 「山びこごっこ」の曲想と、呼びかけとこたえなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。</p> <p>【思-②】 「山びこごっこ」の呼びかけとこたえを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、歌詞や曲想に合った表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。</p> <p>【主-①】 「かくれんぼ」の強弱の変化に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。</p>
---	--	------------------------	----------------------------	--

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準例		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
リズムや ドレミと なかよし (8時間扱い・6~7月)	(1) 曲想とリズムなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景との関わりに気付くとともに、互いの歌声や音を聴き、拍に合わせて歌ったりリズム遊びをしたりする技能や、階名で模唱したり、リズム譜などを見て演奏したりする技能を身に付ける。	知識・技能	曲想とリズムなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景との関わりに気付いている。	○			○
	互いの歌声や音を聴き、拍に合わせて歌ったりリズム遊びをしたりする技能や、階名で模唱したり、リズム譜などを見て演奏したりする技能を身に付けている。		○	○	○		
	(2) リズム、音色を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、言葉とリズムとの関わりや曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかや演奏するかについて思いをもったり、リズム遊びを通して音楽づくりの発想を得たりする。	思考・判断・表現	リズム、音色を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、言葉とリズムとの関わりや曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかや演奏するかについて思いをもったり、リズム遊びを通して音楽づくりの発想を得たりしている。			○	
(3) リズム表現や鍵盤楽器の演奏に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、拍やリズム、階名や鍵盤楽器に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	リズム表現や鍵盤楽器の演奏に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○	○			

の扱 めい や時 す数	ねらい	教材 (◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準例
3	拍に合わせて歌ったりリズム遊びをしたりする技能を身に付けるとともに、リズムが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、リズム遊びを通して音楽づくりの発想を得る。	◎どうぶつの歌 こいぬのビンゴ <どうぶつラップで あそぼう>	○「こいぬのビンゴ」を歌ったり、合わせてリズム打ちをしたりする。 ○「どうぶつの歌」の各曲を、動物の鳴き声や言葉のリズムに注意して聴く。 ○拍によって「どうぶつラップで あそぼう」の活動をする。	【主-①】 「こいぬのビンゴ」のリズム表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。 【知-①】 各曲の曲想と、言葉のリズムなど音楽の構造との関わりに気付いている。 【思-①】 「どうぶつラップ」のリズムを聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、リズム遊びを通して音楽づくりの発想を得ている。
3	曲想とリズムや歌詞との関わりに気付くとともに、リズムや音色が生み出すよさや面白さを感じ取りながら、リズム遊びを通して音楽づくりの発想を得る。	ぴよんぴよこ ロックンロール <ことばのリズムで あそぼう>	○「全音符」「2分音符」「4分音符」「8分音符」について理解して、「ぴよんぴよこ ロックンロール」を歌う。 ○声で、言葉のリズムのまねっこあそびをする。 ○体から出る音で、言葉のリズムのまねっこあそびやリレーをする。	【知-②】 「ぴよんぴよこロックンロール」の曲想と、リズムなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景との関わりに気付いている。 【技-①】 互いの音を聴き、拍に合わせてリズム遊びをする技能や、リズム譜などを見て演奏する技能を身に付けている。 【思-②】 リズムや音色を聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、リズム遊びを通して音楽づくりの発想を得ている。
2	鍵盤楽器の演奏に興味をもち、音楽活動を楽しむとともに、階名で模唱する技能や、リズム譜などを見て、拍に合わせて歌ったり演奏したりする技能を身に付ける。	<楽きで ドレミと なかよくなるう> かえるのがっしょう	○鍵盤ハーモニカで音階の練習をする。 ○「かえるのがっしょう」を、輪唱したり輪奏したりする。	【主-②】 鍵盤楽器の演奏に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。 【技-②】 「かえるのがっしょう」を階名で模唱したり、互いの歌声や音を聴き、拍に合わせて歌ったり、リズム譜などを見て演奏したりする技能を身に付けている。

<コーナー名> (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準例		歌唱	器楽	づくり 音楽	鑑賞
<音の スケッチ> 音の かさなりや リズム を えらんで 合わせよう (3時間・7月)	(1) 音の重なりや、フレーズのつなげ方の特徴に、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付くとともに、音楽の仕組みを用いて、簡単な音楽をつくる技能を身に付ける。	知識・技能	【知-①】 音の重なりや、フレーズのつなげ方の特徴に、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付いている。 【技-①】 音楽の仕組みを用いて、簡単な音楽をつくる技能を身に付けている。			○	
	(2) 和音やリズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていくかについて思いをもつ。	思考・判断・表現	【思-①】 和音やリズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていくかについて思いをもっている。			○	
	(3) 鍵盤楽器で音を合わせることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、和音の響きに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【主-①】 鍵盤楽器で音を合わせることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。			○	

○=本評価規準例における中心的な項目

<コーナー名> (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準例		歌唱	器楽	づくり 音楽	鑑賞
<めざせ 楽き名人> 「かっこう」 「ドレミの トンネル」 (毎時・9月～)	(1) 楽器の音色と演奏の仕方との関わりに気付くとともに、「指くぐり」「指またぎ」の奏法や、範奏や伴奏を聴いたり、リズム譜などを見たりして演奏する技能を身に付ける。	知識・技能	【知-①】 楽器の音色と演奏の仕方との関わりに気付いている。 【技-①】 「指くぐり」「指またぎ」の奏法や、範奏や伴奏を聴いたり、リズム譜などを見たりして演奏する技能を身に付けている。		○		
	(2) 旋律、拍やその流れ、速度を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもつ。	思考・判断・表現	【思-①】 「かっこう」の旋律、拍やその流れ、速度を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもっている。		○		
	(3) 鍵盤楽器の演奏に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、鍵盤楽器に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【主-①】 鍵盤楽器の演奏に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。		○		

○=本評価規準例における中心的な項目

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準例		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
		知識・技能	思考・判断・表現				
きよくに合った歌い方 (4時間扱い・9月)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。	○			
			自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付けている。	○			
	思考・判断・表現	旋律や伴奏を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想に合った歌い方を工夫し、どのように歌うかについて思いをもったり、演奏の楽しさを見いだして聴いたりする。	○				○
	(3) 曲想や歌詞を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、歌唱表現に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	曲想や歌詞を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○			

○=本評価規準例における中心的な項目

の扱い時数	ねらい	教材(◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準例
2	曲想と、旋律や歌詞との関わりに気付くとともに、曲想や歌詞を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しむ。	ジェットコースター	○「ジェットコースター」を、曲想を感じ取って歌う。 ○「ジェットコースター」をふさわしい歌声を工夫して歌う。	【主-①】 「ジェットコースター」の曲想や歌詞を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。 【知-①】 「ジェットコースター」の曲想と、旋律など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。
2	自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付けるとともに、旋律が生み出すよさや面白さを感じ取りながら、曲想に合った歌い方を工夫したり、演奏の楽しさを見いだして聴いたりする。	虫のこえ (共通教材) ◎むしの声 (参考曲)	○「虫のこえ」を、歌詞の表現を工夫し、歌声や発音に気を付けて歌う。 ○長唄「むしの声」を、旋律や声の出し方などに注意して聴く。	【技-①】 「虫のこえ」を、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付けている。 【思-①】 旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想に合った歌い方を工夫し、どのように歌うかについて思いをもったり、演奏の楽しさを見いだして聴いたりしている。

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準例		歌唱	器楽	づくり 音楽	鑑賞
〈音の スケッチ〉 どんな音が聞こえるか (2時間・9～10月)	(1) 身の回りのいろいろな音の特徴に、それらの生み出す面白さなどに関わらせて気付く。	知識	【知-①】 身の回りのいろいろな音の特徴に、それらの生み出す面白さなどに関わらせて気付いている。			○	
	(2) 音の高さや長さなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、それぞれの特徴を捉えて聴く。	思考・判断・表現	【思-①】 音の高さや長さなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、それぞれの特徴を捉えて聴いている。			○	
	(3) 身の回りの音を探したり聴いたりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、環境音に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【主-①】 身の回りの音を探したり聴いたりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。			○	

○=本評価規準例における中心的な項目

2年 p. 34～37

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準例		歌唱	器楽	づくり 音楽	鑑賞
いい音見つけて (4時間扱い・10～11月)	(1) 曲想と音色など音楽の構造との関わり気付くとともに、音色に気を付けて楽器を演奏する技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と音色など音楽の構造との関わり気付いている。 音色に気を付けて楽器を演奏する技能を身に付けている。				○
	(2) 楽器の音色、リズムや旋律の反復と変化を聴き取り、その面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲全体を味わって聴いたり、歌詞に合った楽器の音色を工夫し、どのように表すかについて思いをもったりする。	思考・判断・表現	楽器の音色、リズムや旋律の反復と変化を聴き取り、その面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲全体を味わって聴いたり、歌詞に合った楽器の音色を工夫し、どのように表すかについて思いをもったりしている。			○	○
	(3) 楽器の音色やリズムに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、打楽器に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	楽器の音色やリズムに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。			○	

○=本評価規準例における中心的な項目

の扱 めい や時 数	ねらい	教材 (◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準例
2	曲想と音色などとの関わりに気付くとともに、楽器の音色、リズムや旋律の反復と変化を聴き取り、その面白さを感じ取りながら、曲全体を味わって聴く。	◎ゆかいな 時計	○「ゆかいな時計」を、ウッドブロックの音色やリズムに気を付けて聴く。 ○「ゆかいな時計」を、体を動かしながら聴いたり、よいところ、面白いところを見つけて聴いたりする。	【知-①】 「ゆかいな時計」の曲想と、音色など音楽の構造との関わりに気付いている。 【思-①】 楽器の音色、リズムや旋律の反復と変化を聴き取り、その面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲全体を味わって聴いている。
2	楽器の音色やリズムの面白さを感じ取りながら、歌詞に合った楽器の音色を工夫するとともに、音色に気を付けて楽器を演奏する技能を身に付ける。	森の たんけんたい	○「森のたんけんたい」を、曲想を感じ取って歌ったり、歌詞に合う楽器の音を考えたりする。 ○「森のたんけんたい」を、歌詞に合う楽器の音を工夫して、歌に合わせて演奏する。	【思-②】 楽器の音色やリズムを聴き取り、その面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、歌詞に合った楽器の音色を工夫し、どのように表すかについて思いをもっている。 【主-①】 「森のたんけんたい」の楽器の音色やリズムに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。 【技-①】 音色に気を付けて楽器を演奏する技能を身に付けている。

<コーナー名> (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準例	歌	器	づ	鑑	
			唱	楽	くり	賞	
<にっぽんのうた みんなのうた> 「夕やけ こやけ」 (共通教材) p. 38～39 (2時間扱い・11月)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	【知-①】 「夕やけこやけ」の曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。	○			
			【技-①】 自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付けている。	○			
	(2) 旋律の流れを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつ。	思考・判断・表現	【思-①】 「夕やけこやけ」の旋律の流れを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。	○			
(3) 歌詞や曲想を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【主-①】 「夕やけこやけ」の歌詞や曲想を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○				

○=本評価規準例における中心的な項目

<コーナー名> (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準例		歌唱	器楽	づくり 音楽	鑑賞
<めざせ 楽き名人> 「こぎつね」 p. 40～41 (毎時扱い)	(1) 曲想とフレーズなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、手の移動などの奏法や、階名で模唱したり範奏を聴いて演奏したりする技能を身に付ける。	知識・技能	【知-①】 「こぎつね」の曲想と、フレーズなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。		○		
	(2) 旋律やフレーズ、反復を聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもつ。	思考・判断・表現	【思-①】 「こぎつね」の旋律やフレーズ、反復を聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもっている。		○		
	(3) 曲想にふさわしい演奏に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、鍵盤楽器やドイツ民謡に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【主-①】 「こぎつね」の曲想にふさわしい演奏に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。		○		

○=本評価規準例における中心的な項目

2年 p. 28～31

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準例		歌唱	器楽	づくり 音楽	鑑賞
おまつりの音楽 (3時間扱い・12月)	(1) 曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。	○			
			互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。	○			
	(2) 太鼓の音やリズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、演奏の楽しさを見いだして聴く。	思考・判断・表現	太鼓の音やリズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、演奏の楽しさを見いだして聴いたりしている。				○
	(3) 太鼓の音に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたや太鼓に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	太鼓の音に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。				○

○=本評価規準例における中心的な項目

の扱 めい や時 す数	ねらい	教材 (◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準例
1	曲想と歌詞との関わりに気付くとともに、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	村まつり	○「村まつり」の曲想を感じ取り、歌い方を工夫する。	【知-①】 「村まつり」の曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。 【技-①】 互いの歌声や伴奏を聴いて、「村まつり」を声を合わせて歌う技能を身に付けている。
2	太鼓の音やリズムが生み出すよさを感じ取りながら、演奏の楽しさを見いだして聴くとともに、太鼓の音に興味をもち、音楽活動を楽しむ。	◎日本の たいこ	○「日本のたいこ」4種類を聴き、気付いたことや感じたことを話し合う。	【思-①】 太鼓の音やリズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、演奏の楽しさを見いだして聴いている。 【主-①】 太鼓の音に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準例	歌 唱	器 楽	づ 音 楽 り	鑑 賞
〈音の スケッチ〉 おまつりの 音楽を つくろう p. 45 (3時間・12月)	(1) 太鼓のリズムやつなげ方の特徴に、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付くとともに、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付ける。	知識・技能 【知-①】 太鼓のリズムやつなげ方の特徴に、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付いている。 【技-①】 音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付けている。			○	
	(2) リズムを聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、簡単なリズムをつくることを通して音楽づくりの発想を得たり、どのように音を音楽にしていくなかについて思いをもったりする。	思考・判断・表現 【思-①】 自分や友達がつくったリズムを聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、簡単なリズムをつくることを通して音楽づくりの発想を得たり、どのように音を音楽にしていくなかについて思いをもったりしている。			○	
	(3) 太鼓のリズムをもとに音楽をつくることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、和太鼓による音楽に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度 【主-①】 太鼓のリズムをもとに音楽をつくることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。			○	

○＝本評価規準例における中心的な項

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価 規準例		歌唱	器楽	音楽 づくり	鑑賞
きよくの ながれ p. 46～47 (2時間扱い・1月)	(1) 曲想と音色など音楽の構造との関わりに気付く。	知識	曲想と音色など音楽の構造との関わりに気付いている。				○
	(2) 楽器の音や旋律の反復・変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の楽しさを見だし、曲全体を味わって聴く。	思考・判断・表現	楽器の音や旋律の反復・変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の楽しさを見だし、曲全体を味わって聴いている。				○
	(3) 楽器の音や旋律の反復・変化などをもとに、音楽が表している情景を想像することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、標題音楽やオーケストラの響きに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	楽器の音や旋律の反復・変化などをもとに、音楽が表している情景を想像することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。				○

○=本評価規準例における中心的な項目

の扱 めい や時 す数	ねらい	教材 (◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準例
2	曲想と音色などとの関わりに気付くとともに、楽器の音や旋律の反復・変化が生み出すよさや面白さを感じ取りながら、曲全体を味わって聴く。	◎そりすべり	<ul style="list-style-type: none"> ○「そりすべり」を、聞こえてくる音に気を付けて聴く。 ○「そりすべり」の旋律を聴き取り、体を動かしながら聴く。 ○「そりすべり」のよいところ、面白いところを見つけて聴く。 	<p>【知-①】 「そりすべり」の曲想と、音色など音楽の構造との関わりに気付いている。</p> <p>【主-①】 「そりすべり」の楽器の音や旋律の反復・変化などをもとに、音楽が表している情景を想像することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。</p> <p>【思-①】 「そりすべり」の楽器の音や旋律の反復・変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の楽しさを見だし、曲全体を味わって聴いている。</p>

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準例		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
		知識・技能	思考・判断・表現				
くりかえしと かさなり p. 48～49 (3時間扱い・1～2月)	(1) 曲想と反復や速度など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景との関わりに気付くとともに、互いの声や楽器の音を聴き、声や音を合わせて演奏する技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と反復や速度など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景との関わりに気付いている。	○			
			互いの声や楽器の音を聴き、声や音を合わせて演奏する技能を身に付けている。	○	○		
	思考・判断・表現	楽器の音や、旋律や音型の反復と重なり、速度の変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもったり、曲の楽しさを見いだして聴いたりする。	○	○			○
	(3) 反復や重なり、速度の変化を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、合唱奏に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	反復や重なり、速度の変化を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○	○		

○＝本評価規準例における中心的な項目

の扱 めい や時 す数	ねらい	教材 (◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準例
3	楽器の音や、旋律や音型の反復と重なり、速度の変化が生み出すよさや面白さ、曲想を感じ取って表現を工夫したり、曲の楽しさを見いだして聴いたりする。	汽車は 走る ◎しゅっぱつ	○「汽車は走る」の主旋律を歌詞唱したり、副次的旋律を加えて歌ったりする。 ○「汽車は走る」を、楽器を合わせて演奏する。 ○「しゅっぱつ」を、楽器の音や、旋律や速度の変化に注意して聴く。 ○「汽車は走る」を演奏しながら、汽車の様子を表す。	【知-①】 「汽車は走る」の曲想と、反復や速度など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景との関わりに気付いている。 【技-①】 「汽車は走る」を、互いの声や楽器の音を聴き、声や音を合わせて演奏する技能を身に付ける。 【思-①】 「しゅっぱつ」の楽器の音や、旋律や速度の変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の楽しさを見いだして聴いている。 【主-①】 「汽車は走る」の反復や重なり、速度の変化を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。

				<p>【思-②】 「汽車は走る」の楽器の音や、旋律や音型の反復と重なり、速度の変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもっている。</p>
--	--	--	--	--

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準例		歌唱	器楽	音楽	鑑賞
みんなで 合わせて p. 32～33 (4時間扱い・2～3月)	(1) 曲想と拍や旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、互いの歌声や音、伴奏を聴いて、声や音を合わせて歌ったり演奏したりする技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と拍や旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。	○			
	互いの歌声や音、伴奏を聴いて、声や音を合わせて歌ったり演奏したりする技能を身に付けている。		○	○	○		
	(2) 拍やその流れ、リズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想に合った表現を工夫し、どのように演奏したいかについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見いだして聴いたりする。	思考・判断・表現	拍やその流れ、リズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想に合った表現を工夫し、どのように演奏したいかについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見いだして聴いたりする。	○	○		
(3) 友達と歌声や音を合わせることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、パートナーソングや合唱奏に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	友達と歌声や音を合わせることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○				○

○=本評価規準例における中心的な項目

の扱 めい や時 す数	ねらい	教材(◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準例
2	曲想と拍や旋律などや、歌詞との関わりに気付くとともに、友達と歌声や音を合わせることに興味をもち、音楽活動を楽しむ。	ウンパッパ ◎ティニクリング	○「ウンパッパ」を、拍やその流れの って歌詞唱する。 ○「ティニクリング」の音楽に合わせ て、膝打ちや手拍子などで 3 拍子のリ ズムを打ったり、「ウンパッパ」を、旋 律を重ねて歌詞唱する。	【知-①】 「ウンパッパ」の曲想と、拍や旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。 【主-①】 友達と歌声や音を合わせることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。
2	声や音を合わせて歌ったり演奏したりする技能を身に付けるとともに、拍やその流れ、リズムが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、曲想に合った表現を工夫したり、曲や演奏の楽しさを見いだして聴いたりする。	チャチャ マンボ ◎マンボ ナンバー ファイブ	○リズムによって「マンボ ナンバー ファイブ」を聴いたり、「チャチャ マンボ」 を歌詞唱したりする。 ○「チャチャ マンボ」の合奏をする。	【思-①】 「チャチャマンボ」や「マンボナンバーファイブ」の拍やその流れ、リズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想に合った表現を工夫し、どのように演奏したいかについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見いだして聴いたりする。 【技-①】 互いの歌声や音、伴奏を聴いて、声や音を合わせて「チャチャマンボ」を歌ったり演奏したりする技能を身に付けている。

<コーナー名> (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準例		歌 唱	器 楽	づ 音 楽 く り	鑑 賞
		知識・技能	思考・判 断・表現				
<にっぽんのうた みんなのうた> 「春が きた」 (共通教材) (1 時間扱い・3 月)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、自分の歌声や発音に気を付けて歌う技能や、階名で模唱したり暗唱したりする技能を身に付ける。	知識・技能	【知-①】 「春がきた」の曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。 【技-①】 「春がきた」を自分の歌声及び発音に気を付けて歌ったり、階名で模唱したり暗唱したりする技能を身に付けている。	○			
		思考・判断・表現	【思-①】 「春がきた」の旋律の流れを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。	○			
	主体的に学習に取り組む態度	【主-①】 「春がきた」の歌詞や曲想を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○				

コーナー名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準例		歌唱	器楽	づくり 音楽	鑑賞
<音の スケッチ> みんなの 音楽時計を つくろう p. 56～57 (4時間扱い・3月)	(1) 音型の反復や重なりについて、それらが生み出す面白さなどに関わらせて気付くとともに、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付ける。	知識・技能	【知-①】 時計を表す音型の反復や重なりについて、それらが生み出す面白さなどに関わらせて気付いている。 【技-①】 音型の反復や重なりなど、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付ける。			○	
	(2) 拍やリズムの反復、強弱を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていくかについて思いをもったり、自分たちのつくった音楽と共通するところや、曲の楽しさを見いだして聴いたりする。	思考・判断・表現	【思-①】 拍やリズムの反復、強弱を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていくかについて思いをもったり、自分たちのつくった音楽と共通するところや、曲の楽しさを見いだして「ウィーン音楽時計」を聴いたりする。			○	○
	(3) 音型を組み合わせる音楽をつくることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、時計を表す音楽づくりに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【主-①】 音型を組み合わせる音楽をつくることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。			○	

○=本評価規準例における中心的な項目

コーナー名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準例		歌唱	器楽	づくり 音楽	鑑賞
クリスマスソングを 歌おう p. 58～59 (1時間扱い・随時)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに関わらせて気付くとともに、互いの声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	【知-①】 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに関わらせて気付いている。 【技-①】 互いの声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。				○
	(2) 歌詞や旋律の特徴を聴き取り、それらの生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもったり、曲の楽しさを見いだして聴いたりする。	思考・判断・表現	【思-①】 歌詞や旋律の特徴を聴き取り、それらの生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の楽しさを見いだして聴いている。				○
	(3) 歌詞が表す情景や、歌詞と旋律との関わりに関わりに関わらせて興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、季節や行事に関わる歌に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【主-①】 歌詞が表す情景や、歌詞と旋律との関わりに関わりに関わらせて興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。				○

○=本評価規準例における中心的な項目